科目番号	50007	分類	共通科目	履修者	高度実践公衆衛生看護コース	学年
科目名	IT コミュニケーション特論					1
						配当ｾﾒｽﾀｰ
						前期

担当者	○今泉 一哉	区分	選択	単位	1	時間数	15

授業の概要および目標	学位授与の方針との関連	
【概　要】 これからの保健医療従事者にとって必要な IT を用いたヘルスコミュニケーションについて学習する。専門職に必要な情報リテラシーと最新の医療情報の活用方法について学ぶことで、将来保健医療分野のビックデータを扱うためのスキルを養う。 【目　標】 ・現在起こっているデータ・AI 活用の社会背景を理解し、ヘルスケア分野における利活用について考えることができる。 ・データを利活用するための基本的なリテラシーを身につけている。 ・身近な生活や専門職の業務との関係について説明できる。		1.多様な課題に対応する高度な実践力
		2.地域住民の自立を支える統合的支援能力
	○	3.地域の健康課題を科学的にアセスメント・分析する能力
		4.政策や保健事業を開発する能力
		5.災害対応や振興・再興感染症への危機管理能力
	○	6.公衆衛生看護・公衆衛生行政に繋がる研究能力

授　業　計　画

回	内　容	担当教員
第1回	社会の変化とデータ活用	今泉
第2回	データ・AI 活用領域・技術	
第3回	データリテラシー①　データを読む・説明する	
第4回	データリテラシー②　データを扱う	
第5回	データ・AI を扱う上での留意事項	
第6回	ヘルスデータと社会コミュニケーション	
第7回	ヘルスビッグデータの利活用	
第8回	AI・IoT・ビッグデータ等の可能性	

事前・事後学習	事前学習：　授業に関係する資料・書籍・Web 等を調べる。 事後学習：学習内容を整理する。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと。
評価の方法	学習確認を各回に実施（70%）、最終レポート（30%）と総合して評価する フィードバックは適宜行う。
参考図書・資料等	エッセンシャル看護情報学　2022 年版 ◎は授業の必携図書ですので、購入していただきます。
備　　考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。